

青少年問題対策協議会が発足！

明日の町を築く青少年を非行から守り 健全に育成するために



常葉雅文会長

7月20日(水)、役場議場において、新しく発足した町青少年問題対策協議会が開催されました。この対策協議会は、町内の青少年をより健全に育成するために、関係行政機関や団体相互の連絡調整をはかることを目的に設置され、春と秋、年2回開催されます。また、諸問題が発生した場合には随時開催し、問題に対処してまいります。

青少年問題対策協議会設立につきまして、みなさんに一言ごあいさつ申し上げます。

近年の目まぐるしい社会環境の変化は、わたしたちの子どもに決して良い影響をあたえていたとは思えない状態にあり、生れつき非行をおこす子どもは「生れつき非行」をいいますが、残念ながら1月から7月まで青少年の非行が十数件発生しています。このようなことでも、明日の町を築く青少年の育成は、わたしたちにあたえられた大きな使命であり、町ぐるみの取り組みと推進を真剣に考えていく時期だと思えます。

町では現在、青少年に関する諸問題について、各担当課がそれぞれの団体と協力し取り組んでいます。ここで従来の取り組み等を見直し、各担当課が更に横の連絡を密にし、各団体の強力な協力体制のもと一丸となつて青少年問題に対処していくことが必要であると痛感しております。

設立主旨は

◎青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な事項を調査審議
◎青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整。
◎協議会は、前項に規定する事項に關し町長、関係行政機関及び関係団体に対し意見を述べることが出来る。

委員氏名

(敬称略)

- ◎会長 常葉雅文(町長)
- ◎副会長 金指恭三(教育委員長)
- ◎委員 常盤登(助役) 大久保芳夫(収入役) 望月康江(教育長) 望月好勤(議会議長) 望月貞彦(議会総務委員) 望月寿作(議会厚生委員) 尾崎初男(社会教育委員長) 太田美美子(青少年健康育成委員代表) 篠田弥天(民生児童委員総務・社会福祉協議会事務局長)
- ◎物損事故6件(3)
- 12件の交通事故が発生し、6人の人が3日から2週間程度のけがをしています。12件の内、7件(2)が松野地区で発生しています。(内は、前年同月比) 人身事故のかたちとしては
- ◎わき見運転をして道路外に出したものの2件
- ◎交差点での出会いがしらの衝突2件等です。

町の収入役に大久保芳夫氏再任



大久保芳夫収入役

常葉雅文町長は、7月19日(火)開催された第6回臨時会において、8月7日任期満了を迎える大久保芳夫収入役(相生町)を再任する人事案件をかり同意を得ました。これにより、同氏は、今後4年間町の会計責任者として収入役の職務にあたります。同氏は収入役就任にあたり「このたび、議会の議決をいただき、引き続き収入役の職責を担うことになりました。地方財政を取りまく環境は誠にきびしい昨今であります。とくに、みなさんの貴重な税金を預る立場の一人として、その責任の重大さを痛感しております。微力ではありますが、過去二期の経験をもとに初心にかえり職務の遂行にあたる所存です。みなさまのご指導・鞭達をより一層お願いいたします。」と話していました。

まざまず順調なスタート
共立蒲原総合病院

◎外来患者数

科名	5月	6月	7月	計
内科	2,652	2,795	2,857	8,304
小児科	1,340	1,360	1,369	4,069
外科	872	965	972	2,809
整形外科	1,698	1,888	1,954	5,540
皮膚科	1,296	1,390	1,565	4,251
産婦科	1,330	1,409	1,440	4,179
眼科	720	670	724	2,114
耳鼻科				
脳外科	495	546	519	1,560
計	10,403	11,023	12,078	33,504

◎入院患者数

科名	5月	6月	7月	計
内科	3,208	3,383	2,992	9,583
小児科	353	343	361	1,057
外科	1,026	1,377	1,352	3,755
整形外科	1,401	1,385	1,344	4,130
皮膚科	351	438	597	1,386
産婦科	653	831	868	2,352
眼科	33	1	6	40
耳鼻科				
脳外科	394	311	337	1,042
計	7,419	8,069	7,870	23,358

同病棟の松井事務長は、「現在、外来患者は横ばいで、入院患者は10%位増えています。まずまずの出足だと思えます。しかし、今後、経常経費(燃料費など)が増えていくことが予想されますので、病院としては、医療費抑制の中で、運営面等に対して真剣に取り組む対応しなくてはならないと思えます。いろいろと話し合っていました。」

7月の交通事故 松野地区で多発



7月20日から8月9日まで、交通安全意識を高め、交通事故防止を更に図ることを目的に「夏の交通安全県民運動」がおこなわれましたが、町内では、7月中旬に12件の交通事故が発生し、依然として交通事故多発の傾向をしめています。

8月号では、7月中に発生した交通事故状況についてみなさんにお知らせします。安全運転を心がけ、町内から交通事故をなくしましょう。

◎発生事故(7/1~31)
○人身事故6件(2)

道路愛護運動により表彰される

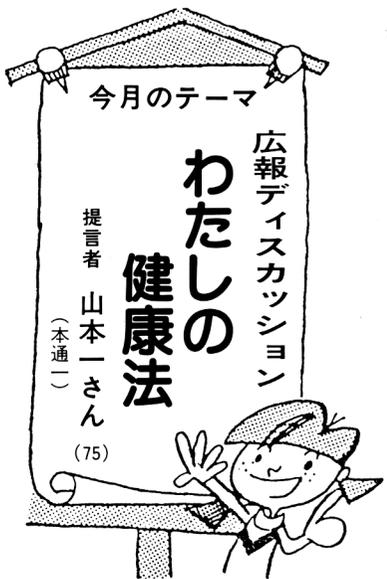
富士見町



病院職員も真剣に避難訓練を実施(病院建設にあたり、国民年金還元融資や医療施設整備費補助金があてられました)

7月25日(月)、静岡土木事務所において開催された静岡県道路利用者会議静岡支部会の席上、富士見町区(望月武区長)が、永年に亘る道路愛護運動推進の功績により表彰されました。

同地区は、昭和25年頃から林道として開かれた富士川・由比線の側溝清掃や下刈りなどを区民あげておこない、通行する車両などの安全に大きく貢献してきましたので、この地道な奉仕活動が認められました。



父の健康法

舟山町 花田眞澄さん(39)

私は、健康には自信がありませんので、父の健康法について一言書かせていただきます。

父74歳、毎朝行つてらっしゃい」の声と共に、主人の車で鈴川まで行きます。日曜日から旅行で家にいない時以外は、毎日仕事場に行き見積書を書いたり、現場を自転車で見廻つたりして

います。一年中身体の調子が悪くて帰ることはほとんど有りません。たまに鼻風邪をひいても薬を飲んで一晩寝て起きると良くなるようです。そのバイタリティの秘訣は「早寝早起きと仕事から帰ってきてからの晩酌にあると思います。箸と茶わんを置くと上と下のまぶたがすぐに仲良くなって眠い眠いと言つて

一眠りしてから風呂に入ることもあります。父の同級生の方達が入院した、亡くなったと聞くたびごとに健康で仕事ができ旅行にも人の世話にならずに行けることを、私達家族は父母と共にいつも感謝しております。いつまでも、両親に長生きしてもらいたいと思つております。

夢を持ち、孤独で、あつてはならない
舟山町 植松良三さん(63)

今迄の私の人生を振り返つてみれば、中学時代の「肺浸潤」社会に出てから「十二指腸潰瘍」「虫垂炎」「尿管結石」と三度も入院手術した。まるで道草しながらころんだり倒れたり、中古自転車のサイクリングのようであつた。

ていたのではない。まず、過大な欲望を持たない。人生80点で結構。つぎに、夢を持つこと。孤独であつてはいけない。病気になるたらすべてを往生して医者にまかすこと。
こんな人生感が今日まで生きて来た結果かも知れない。かつての上司、土光さんの真似ではないが、毎朝仏壇に向かつて今日も精一杯生きようと拝み、夜は凡人の悲しさ、今日も失敗でしたと反省して祖先を拝み「春風を以つて人に接し、秋霜を以つて自らをつつしむ」と言う座右銘を見ながら明日を楽しみに床につくのがこの頃のわたしの日々である。
もうけもの的人生
63歳の日々”
足・腰を鍛えるために
サイクリングをつづけています
東町一 鈴木国臣さん(60)

はななければなりません。自分にあつた薬草(クコ)をみつけました。どこでもある草です。朝起きた時の自分の身体の具合。朝食がおいしく食べられることです。その日の健康状態がわかります。以上簡単ですが私の健康法です。
私の健康法「ストレス解消法」
木島 常盤君子さん(33)

はななければなりません。自分にあつた薬草(クコ)をみつけました。どこでもある草です。朝起きた時の自分の身体の具合。朝食がおいしく食べられることです。その日の健康状態がわかります。以上簡単ですが私の健康法です。
私の健康法「ストレス解消法」
木島 常盤君子さん(33)



提言者 芦川由希子さん(33) 木島

9月のテーマ

わたしの災害体験
地震・カミナリ・火事……

台風季節になると、高校の時に大きい台風がきたのを思い出します。夜半より風雨が強まり雨戸にあたる雨の音もいつそうはげしさを増し、天井が大きく上下し、次の瞬間、南側の窓ガラスがパンパンと続けて破裂しました。私は悲鳴をあげてへやのすみへ逃げましたが、父はとつさに天井板を一枚はずしました。するとふしぎにガラスの割れるのがおさまりました。晴れぬ一夜が明けると、あちこちの被害がわかり、わが家では、電話線が切れ、かわらが少しとばされておりました。雨戸や窓がこわれ家財道

私は、心(精神)の健康こそ大切であると言いたい。昔からのことわざ「健康な身体に健全な精神がやどる」と言われている。それでは、心の健康とは第一に、何も考えない。立身出世も望まない、ほしがらない。いわゆる無欲のことである。昔から無の世界、境地はむずかしく、人々が究極の目標にしたのである。第二に、心配しない、くよくよしない。この世には自分のこと、家族のこと、世の中のことを考え、心配しなければならぬ。安心して何も考えない、心配しないでおつたらすばらしいことである。第三には、自分のことを考えない。むずかしい言葉で言えば「自我をすてることであり」

自分とか人のことを考えはじめたら美貌、立身出世、経済……常に頭の中は一杯である。ああでもない、こうでもない、こうすればよい、「自分」というものを考えなかつたらすばらしいものである。これら三点を心掛け心の健康に留意したいものである。

64才の健康法は
本通り四 井町享子さん(64)

人間なが一番幸せかといつて健康に恵まれていることこそ最大の幸せではないかと思ひます。今まで自分の身体が丈夫であることを過信して、勤めをやめた後仕事違いであることも考えずやりすごしてしまいました。年をとつて身体の状態が元に戻るといふことは仲々大変なことです。これではどう仕様ない。なにか毎日の生活の中で自分にあつた健康法はないかと思つて近所の方のすすめで民謡、御詠歌などに取り組んでみました。大きな声を出すこと。また、少しでも頭を使うこと。よくいわれますが本当に良いことです。ちよつと頭も身体もポヤツトしている時など大きな声で歌つた後気分がスカットします。

人それぞれ生活様式、身体具合等違いはありますが、女の人の生活の中には回りを見れば細かい仕事が一ぱいあります。それを適当にこなすのも健康法の一つです。

むろん食事の方法も自分なりに注意します。父がよく「命は食にあり」といっておりました。が、なを食べてもおいしい。これまた幸せな事です。若くはないのですから薬にも助けても

ていたのではない。まず、過大な欲望を持たない。人生80点で結構。つぎに、夢を持つこと。孤独であつてはいけない。病気になるたらすべてを往生して医者にまかすこと。
こんな人生感が今日まで生きて来た結果かも知れない。かつての上司、土光さんの真似ではないが、毎朝仏壇に向かつて今日も精一杯生きようと拝み、夜は凡人の悲しさ、今日も失敗でしたと反省して祖先を拝み「春風を以つて人に接し、秋霜を以つて自らをつつしむ」と言う座右銘を見ながら明日を楽しみに床につくのがこの頃のわたしの日々である。
もうけもの的人生
63歳の日々”
足・腰を鍛えるために
サイクリングをつづけています
東町一 鈴木国臣さん(60)

はななければなりません。自分にあつた薬草(クコ)をみつけました。どこでもある草です。朝起きた時の自分の身体の具合。朝食がおいしく食べられることです。その日の健康状態がわかります。以上簡単ですが私の健康法です。
私の健康法「ストレス解消法」
木島 常盤君子さん(33)



9月のテーマ
私の災害体験
地震・かみなり・火事……

400字づつ原稿用紙一枚以内。
締切り日
9月5日(月)まで

投稿先・問合せ先
富士川町役場・総務課
岩淵田番地

注意事項
匿名者の原稿は掲載しませんから、必ず住所・氏名・年齢を記してください。

ママさん記者が取材中



“まきの木大学”

講演会的なものでしたが、昭和49年代から趣味を生かしたグループ学習に発展していき、勉強しやすいこと、人をあつめやすいことで80人から100人なり、さらに4〜5年前からは300人を超え、現在322人の人達が活動しています。

名称も「明治学級」から「まきの木学級」と、そして現在の「まきの木大学」へと変わってきました。

この大学の対象者は60歳以上の人で、現在平均年齢71歳、最高齢者は86歳のおばあさんです。

毎月の学習は、10のグループ学習と月1回の全体学習があります。グループ学習のうち講師の指導でおこなわれているのが、短歌、フラワーデザイン・生け花・盆栽・民謡・詩吟・書道・舞踊の8クラブで、自主的に運営しているのが、ハイキング・放談です。

「高齢者が、自分の時間を大切に、健康をたしかめあいながら趣味を生かし、教養を高める学習を通して、時代を認識し、現代に適応した生き方を考える」という「まきの木大学」の目的に即して、みなさん熱心で意欲的に勉強しています。「勉強をしたいという意欲をもっている、まだまだ家庭の中にいて踏み切れない人達は、気軽にグループに入ってください」と話していました。

一人でもおおくのお年寄りがこの「まきの木大学」の学習を通して、仲間を作り、趣味をもつて、自分の生きがいにしてほしいと思われました。

中沢 雅



生け花教室で学習中の大学生

社会教育の自立 小さな礎石

「捨て石」これはたぶん囲碁から来た用語であろう。つまり、物事の目的を順調かつ円滑に運んだり、自分の思わくを有利に展開させたりするために、前もって施す手だてのことである。考えてみれば、この行為は今すぐに役立つわけでもなく無駄で遠まわりの感じを持つが、私たちの身のまわりにはこうした行為が意外に多くみられることも事実である。そうした事実を過去からつぶさにふりかえってみると、そこに関係した人は、より豊富でユニークな捨て石を持ち、人間的に深みがありおもしろ味を持ち合わせた人が多かったという事に気づく。

捨て石を打てる人……こういう人は、自分が生きていく上で自らの能力を知り、目的に向けて確かな構想があり、方向性に見通しが立つからこそ自信のある石が打てるのであって、そうした石に限りポイントになる働きをしていく。

「捨てる石」は、自分が生きていく上での自らの能力を知り、目的に向けて確かな構想があり、方向性に見通しが立つからこそ自信のある石が打てるのであって、そうした石に限りポイントになる働きをしていく。

私たちがこうした小さな実践を踏み台にして、より大きな実践へと歩を進めるべく、新しい時代にふさわしい「捨て石」を持ちたいものである。その石がやがては有益な働きをする礎石になることを念願しつつ……。

から不思議なものである。人生も半ばを過ぎると暇にかこつけて余分なことをしばしば考えるものである。

近ごろは個人の権利優先時代とも言われ、労を承知で地域のため公共のために役立つという人々が少ない。

しかし、一方ではあえて捨て石となり、地域発展のために粉骨努力されている貴重な事例もあり大変喜ばしいことである。

時代は、もはや意見交換から理屈ぬきでいかに実践にうつすかという時期でもある。地域の人々が生活要求や生活課題の解消に向けて一丸となり正面からとりくむことによって住みよい地域づくりをしていく時である。この積み重ねに費す労を「捨て石」というのではなからうか。

私たちはこうした小さな実践を踏み台にして、より大きな実践へと歩を進めるべく、新しい時代にふさわしい「捨て石」を持ちたいものである。その石がやがては有益な働きをする礎石になることを念願しつつ……。

“一中・二中運動部大活躍”

中学総合体育大会

中学総合体育大会地区予選が7月17日郡内の各中学校で開催され、第一・二中学校の各運動部が健闘し、7月24日からの中部予選を経て、県大会で活躍しましたので、各大会の結果をみなさんにお知らせします。

- ◎庵原地区予選結果
- 軟式野球 一位一中
 - ソフトボール 一位一中 二位二中
 - バレーボール △男子 一位二中 二位一中 △女子 二位二中
 - 卓球 △男子団体 一位二中 A △女子団体 一位二中 A 二位二中 B △女子個人 一位二中 B
 - ◎朝比奈三奈 (二中)
 - ◎中部地区予選
 - ◇ソフトボール 1回戦 二中4-13大河内中 一中4-11広幡中
 - ◇バレーボール 男子1回戦 二中2-0初倉中 準々決勝
 - ◎県大会
 - ◇バレーボール男子 1回戦 二中0-2北星中
 - ◇軟式野球 1回戦 一中0-7富士宮二中
 - ◇軟式テニス 女子団体1回戦 二中1-2下田東中
- 中)
- 剣道 △団体 一位一中 B 二位一中 A △個人一位鈴木洋至 (一中) 二位深沢淳 (二中)
 - 卓球 △男子団体 一位二中 A △女子団体 一位二中 A 二位二中 B △女子個人 一位朝比奈三奈 (二中)
- ◇野球 1回戦 二中0-2清水七中 一中3-2清益津中 準々決勝 一中0-2末広中 5位決定戦 一中3-1中川根中
- ◇軟式テニス 男子団体準々決勝 二中0-2長田西中 女子団体準々決勝 二中2-1清水三中 同準決勝 二中2-1清水二中 同決勝 二中1-2長田南中



資料・東海地震⑬

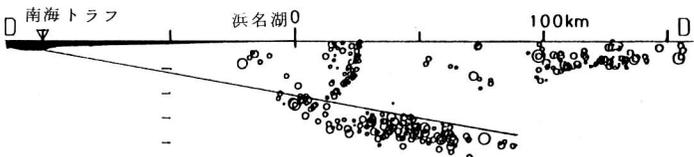
南海トラフと地震面

東大地震研 恒石 幸正

南海トラフは東海地方・紀伊半島・四国の沖にそった、細長い海底の凹地です。トラフの日本語訳は「舟状海盆」で、もっと深く切りこんだ海底は海溝(トレンチ)とよばれます。

海溝は海プレートの陸の下へもぐりこむ場所となっており、トラフについては一般にプレートの上で起きています。さらに、海上保安庁水路部が南海トラフで実施した音波探査によっても、北方へもぐり込む海底の逆断層の形が見事にとらえられています。このように南海トラフでのプレートのもぐり込みは確実です。

ところで、駿河トラフではどうでしょうか。伊豆半島の東にある「伊豆東方線」から駿河トラフの下をぐりぬけ、北西へ傾く弱い地震面は見られるのですが、駿河トラフからはまるまる存在しません。つまり、駿河トラフではプレートのもぐり込みは起きていないのです。



戸籍の窓

S 58・7・157・31届出
(敬称略)

おめでた

区名 氏名 保護者 続柄
相生町 岡野勇人 哲生 長男
〃 土井綾野 知明 長女
〃 佐藤友折 文敬 二女
堺町 乾ももこ 朋義 三女
宮町 渡邊奈緒美 光章 長女
〃 望月秀人 歳一 二男
小池 御正和哉 博 二男
大柴窪 中山絵美 勝 長女
本通四 鈴木 悠 行敏 四男

本通四 池谷 直 忠 長男
〃 山田絢子 昭治 長女
富士見町 望月慎也 昌 長男
富士松野 花田和彦 芳幸 二男
清水町 佐野晃基 広一 長男
大北町 宇佐美佳代 均 長女

かなしみ

区名 氏名 年齢
小池 山 植松忠雄 七一
相生町 中川国洋 一一
坂 下 辻 米雄 五四
〃 石切山あや 八二

おわび

本紙7月号の10ページ戸籍の窓かなし欄で、上町の勝又朗夫さん47歳を61歳と、また富士見町望月一磨さんを富士松野と誤って掲載しましたので深くおわびし訂正させていただきます。今後間違った記載があります。たら、ご指摘をお願いします。

一里塚



夏になると水の事故のニュースを新聞でよく見る。ことしは特に助けにいった人が力尽きてなくなる場合が多くなった様なきがした。大変お気の毒な事だと思ふ。富士川をいかだで下る子供達。大変おもしろいこころみであったと思ふ。普段富士川に入る事を禁止されている子供達が体験した事はオトナの予想

をはるかに越えたものであろう。私は富士川で泳いで大きくなった。もつともその頃学校にプールはなかったのだが、夏休みなど友達と「おい、行くか」などと、誘いあつて舟戸へ行くのである。広い砂地、焼けた玉石豊富な水、自然そこには多くの子供達が集まつてくる。それがいつのころか水泳禁止になつてしまったのである。川砂利の採取、流水の汚濁、高度経済成長の波が、子供達から大事な遊びの場を奪つたのかもしれない。プー

お母さんの

知恵袋

今月は、暮らしの知恵として二・三こんなことを知っていたら便利ではないでしょうか。
一、花器の水もれば、濃いめの米のとき汁を一日くらい入れておくとなおります。
二、こげついて使えなくなったホーロー鍋で、ふっくらおいしい焼イモが作れます。鍋の底にアルミ箔を敷いて、イモを入れふたをして20分ほど空だきすればできあがり。
三、子どものズックぐつや布ぐつを洗つて干すとき、いらぬタオルにくるんで30秒ほど脱水にかけると、ポタポタ水落ちせず早くかわきます。
四、網戸が汚れてきたら、強い雨の日にコンクリートか砂利石の上に寝かせておくと、雨がきれいに洗つてくれます。手間も水道代もかかりません。
五、ごく薄くなった化粧石けんは、日陰でかわかして、和・洋裁用チャコとして使いますと、チャコのあとも残らず、針の通りも良いです。
みなさん、一度試してみてはいかがでしょう。

善意銀行へ寄託

(敬称略)

S・58・7・157・21
二万円 清水町 小池 一義
一万円 富士見町 中沢 己
雑布七十六枚
小山 美寿司会



七月詠草 (天野寛選)

新町 深沢千代子
風花とみまごう如き柳絮舞う五月晴れにして北京空港
木島 角替千鶴子
滝つぼの水流れゆく山峡の新緑のひと所山あじさいの咲く

宮町 浦田 次子
ささやかな庭を造りて散水のホース持つ朝心はずみで
本通り 長橋 安子
師の郷里会津の土をいまふみぬ
桐の花ばな匂ひつた町

宮町 池田 てい
義兄の法事終りて登る寺山の若葉の中に桐は咲きたり
四十九町 塩川 恒子
滝見むと下る細道むせかえる青葉の中に光るヒメシヤラ

宮町 若月 幸江
久々に天城を訪いて深々と映ゆる緑に吾は対いたり
宮町 荻野 敏音
梅雨やめどしとる部屋内今日もいて赤子をあやす畑気遣いて

本通り 斎藤とし子
屋根を打つ音のいよいよ強くして梅雨の終りの夜の雨はげし
宮町 山田たか子
草刈りに蚊取線香腰に持ち朝のしじまに露はらいつつ